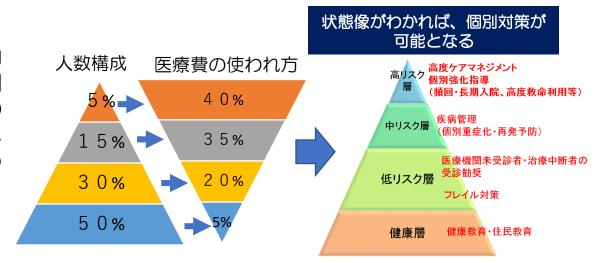
自治体等保険者レセプトデータと健康情報等を基盤に AI を用いてリスク予測やターゲティングを行う 保健指導システムの構築に関する研究

研究開発代表者:森山美知子·加澤佳奈 (広島大学大学院医系科学研究科)

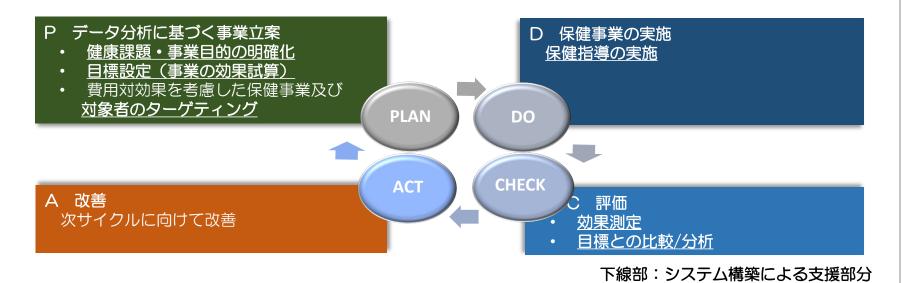
研究開発の背景

平成25年~全ての医療保険者に対し、被保険者の健康増進を目的にレセプト・健診データ等健康関連情報の分析に基づく保健施策の立案、実施、評価を行うデータへルス計画を推進 (厚生労働省, 2013)

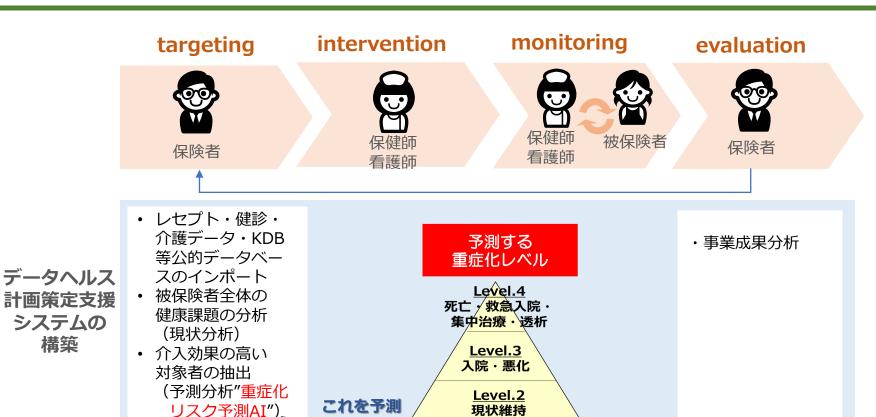


介入効果の高い者をターゲティング・ 医療資源の適正配分が鍵!

開発目的 データヘルス計画のPDCAサイクルのレベルアップを目標に、レセプトデータ、疾病構造や医療費の構造に影響するさまざまなデータの分析に基づき、個々の自治体の特性に応じた保健事業の立案、個々の対象者のリスクに応じた保健指導を支援するシステムの開発



成果の全体像



保健指導支援 システムの 構築

構築



・事業による費用

抑制効果の試算

するAIを開発

・保健指導のエキスパートのノウハウ に基づき、システムが問診・教育・ コミュニケーションを支援 (利用者の情報から、行動目標の設定を支援)

Level.1

健康

研究成果の活用

AIを活用した将来リスク予測と効果的な保健指導の実現

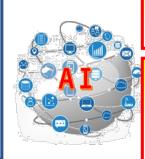
現 状 対 策

将 来 対 策

出来高払いを中心とした 専門医・専門医療機関を中 心とした医療提供

保健事業 (対象者の抽出と効果測定)

- ・疾病の重症化予防による医療費適正化
- ・疾病毎の医療の質・費用・指導効果の評価
- · 多剤併用者 · 重複 · 頻回受診
- ・高額医療費使用者・フレイル対象者
- 医療費支出割合・使用頻度の高い医薬品使用者 など



重症化予測

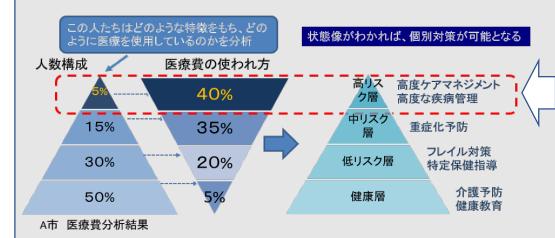
・将来(1、2年後)に高リスク になる可能性の対象者を抽出

保健指導支援

医療専門職によるサービス調整や疾病管理・重症化事業を効果的に支援

【効果測定】

医療費・介護費適正化効果を評価



【現 状 対 策 の 状 況】

多額の医療費が費やされており(入退院の繰り返し、疾病発症や重症化による救急・集中治療の利用、透析移行等)、現 状対策を強化してきた。

【対象疾患】

糖尿病・糖尿病腎症、CKD(非糖尿 病)、心不全、虚血性心疾患、脳卒中、 COPD(慢性閉塞性肺疾患)

研究成果の活用 重症化予防事業のさらなる展開に向けて

リアクティブ



プロアクティブ

平成XX年から実施してきた糖尿病腎症重症化予防事業は、水際の透析移行を 着実に抑制してきた。そして次は、新規透析移行者の減少対策が課題に。

A市 国保人工透析者の推移

